



足立としゆき夢だよりは、足立としゆきの国政での活動状況をお知らせするメルマガで、ご登録頂いている方々に2~3週間に1度メールで配信させていただいています。今回はその番外編として、5月13日（木）に行われた参議院国土交通委員会で「海事産業の基盤強化のための海上運送法等の一部を改正する法律案」について、赤羽国土交通大臣、港湾局長等にご質問させていただいた状況をご紹介します。

低迷する我が国のコンテナ取扱量

日本の貿易の99.6%を支えているのは港湾です。日本の港湾のコンテナ取扱量を見ますと、1980年代半ばには神戸港、横浜港が世界10位以内に入っていました。その後、アジア地域の急速な経済発展とともに、中国の上海港や深圳（しんせん）港、韓国の釜山港などが飛躍的に成長し、2019年には、我が国最大の東京港でも34位、横浜港は61位、東京港と横浜港を合わせた京浜港としても20位相当に低迷をしております。それに対して、釜山港は、1980年代には12位でしたが、2019年には6位に浮上しています。これは、大型化するコンテナ船に日本の岸壁が追従できていないことが原因の一つと考えられます。

世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング

(単位:万TEU)

[1984年]			[2019年(速報)]		
	港名	取扱量		港名	取扱量
1	ロッテルダム	255	1(1)	上海(中国)	4,330
2	ニューヨーク/ニュージャージー	226	2(2)	シンガポール	3,720
3	香港	211	3(4)	寧波-舟山(中国)	2,753
4	神戸	183	4(3)	深圳(中国)	2,577
5	高雄	178	5(7)	広州(中国)	2,324
6	シンガポール	155	6(6)	釜山(韓国)	2,199
7	アントワープ	125	7(8)	青島(中国)	2,101
8	基隆	123	8(7)	香港(中国)	1,836
9	ロングビーチ	114	9(9)	天津(中国)	1,726
10	横浜	110	10(11)	ロッテルダム(オランダ)	1,481
			34(29)	東京	501
			61(59)	横浜	299
			67(65)	神戸	287
			68(67)	名古屋	284
			80(76)	大阪	246
12	釜山	105			
15	東京	92			
31	大阪	42			

[注] 数値はいずれも外内貨を含む。
ランキングにおける()内は2018年の順位。

出典: Containerisation International Yearbook 1987、Lloyd's List 資料、「港湾統計(年報)」を基に国土交通省作成、足立敏之事務所編集

アジア諸国と比較して見劣りする我が国港湾

大型船に対応できる水深16m以上の岸壁は、中国には108バースあると聞きます。韓国が40バース、シンガポールが32バース、マレーシアが21バースであるのに対して、日本は17バースと、大きく見劣りがしています。アジアの主要港湾のコンテナターミナルの規模を全部同じ縮尺で比較したのが次ページの図ですが、その差の大きさに皆さんも驚かれると思います。

必要な港湾事業予算の拡大と国際競争力の強化

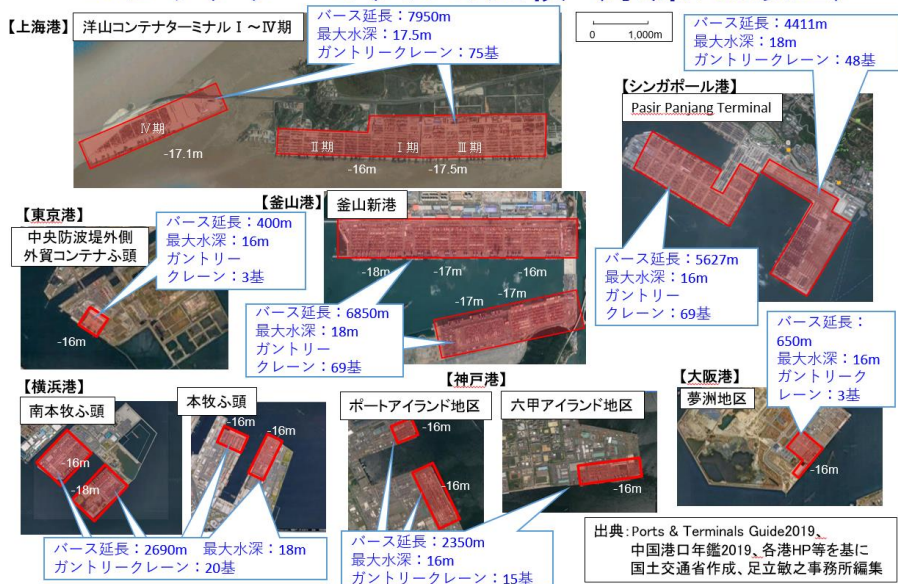
港湾整備の予算ですが、ここ20年程度、公共事業予算削減の影響があり、港湾の整備が停滞していると言わざるを得ません。そのため、船舶の大型化への対応も遅れていますし老朽化への対応もおそろかになっています。それに対して、赤羽一嘉国土交通大臣からは「予算を増やす努力をするのも大事、それが大前提で、予算をどう使うのか、集中をして生産性を向上していくことを相当切り込んでやらなければならない。しっかりと対応していきたい。こう考えています。」との答弁をいただきました。

また、高田港湾局長からも、「外航コンテナ船の大型化や寄港地の絞り込み等進展しており、我が国の港湾の相対的な地位が低下しています。水深16m以上のコンテナ岸壁と比較しても大きく立ち遅れている状況になっています。」とした上で、「大型船に対応したコンテナ、バルク戦略港湾への集中投資、地域基幹産業のサプライチェーンの強靱化に資する港湾投資等、未来への投資として行う必要があると考えています。」との答弁をいただきました。

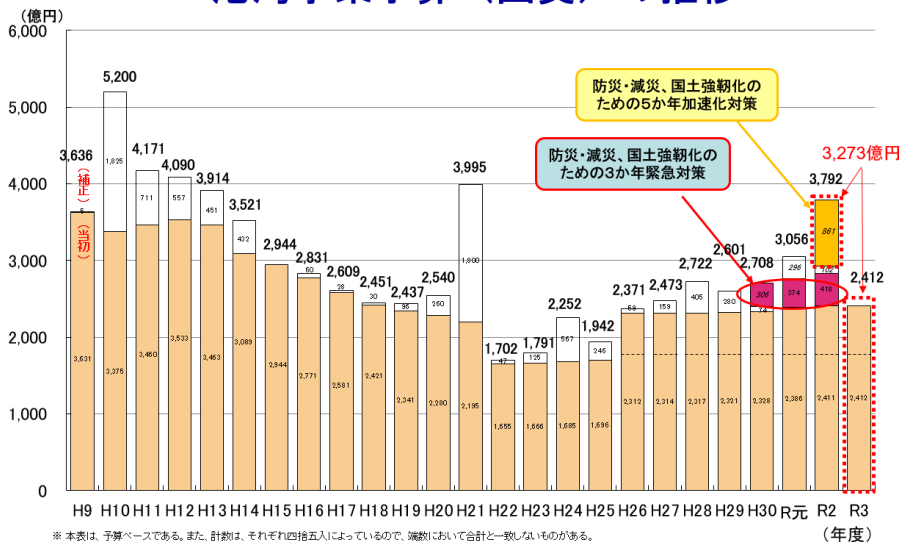
私からは、日本のインフラを国際的にも恥ずかしくない水準にしていくために、このあたりで大きく舵を切って、船舶大型化の対応あるいは脱炭素化の推進など、港湾分野の予算を拡大して整備を進め、港湾インフラの国際競争力を高める必要があると要請しました。



アジアとわが国の主要港湾のコンテナターミナルの比較（水深16m以上）



港湾事業予算（国費）の推移



建設ゆめクラブ 入会方法

ご登録は右下QRコードまたは足立としゆきのホームページよりできます。

足立としゆきホームページ <http://www.adachi-toshiyuki.jp>

ご登録はこちらから

